



**2021年度 赤い羽根福祉基金**  
**「盛和塾 社会人定着応援プログラム」**  
**事業のご報告**

# 「盛和塾 社会人定着応援プログラム」について

中央共同募金会では、2018年度より、盛和塾塾生の皆さまからのご寄付を財源として、「赤い羽根福祉基金 盛和塾社会人定着応援プログラム」を開始しました。

本プログラムは、盛和塾塾長である稲盛和夫氏の「社会的養護(\*)が必要な子どもたちの真の幸せ」を願う想いを受け、児童養護施設の退所者が、自らの未来に希望を抱きつつ、社会人として生きがいを感じながら生活していけるよう支援を行うことを目的に設立されたものです。

全国児童養護施設協議会の調査報告書によると、児童養護施設を退所した者のうち、半数以上が高校卒業後は親からの支援を受けられず自活することが求められています。(\*\*)

そのため、本プログラムでは、高校卒業時に児童養護施設を退所して大学や専門学校等で学ぶ者に対し、就職活動にかかる費用を応援する「就職活動応援助成」および国家資格等の取得にかかる費用を応援する「手に職つけよう応援助成」、また、大学や専門学校への進学に関わらず、就職後になんらかの理由で離職してしまった者が、再就職をめざす際にかかる費用および支援を行う機関の活動費を応援する「リスタート応援モデル助成」事業を実施しています。

また、2021年度は、上記に加えて新型コロナウイルス感染症対策の影響でアルバイト等による収入が減少し、経済的に厳しい状況に直面している学生が増えたことをふまえ、昨年度実施した「新型コロナ対策緊急助成」に続き「新型コロナ対策特別助成」を実施しました。

\*社会的養護とは、保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことです。

\*\*「令和元年度 児童養護施設入所児童等の進路に関する調査報告書」（全国児童養護施設協議会）参照。

### 就職活動応援助成(2018年度より実施)

児童養護施設を退所して進学した者の在学中の就職活動にかかる費用として、一人あたり10万円を助成する。

### 手に職つけよう応援助成（2019年度より実施）

児童養護施設を退所して進学した者が、国家資格等の取得を目指して学ぶ際に必要とされる費用として、一人あたり10万円を助成する。

### リスタート応援助成(2019、2020年度でモデル助成を実施、2021年度は全国で公募)

児童養護施設等の退所者が、就職後さまざまな理由で就労継続が困難となり離職した場合、家族等の支援がない中で再就職をめざすための費用と伴走支援を行う施設、機関の費用を助成する。

### 新型コロナ対策特別助成（2020年度の緊急助成につづき2021年度のみ実施）

児童養護施設を退所して進学した者で、新型コロナウイルス対策のためアルバイト等の収入が減少し、経済的に困難な状況に直面している者の学費または生活費として、一人あたり10万円を助成した。

## 就職活動応援助成

児童養護施設を退所して進学した者の在学中の就職活動にかかる費用として、一人あたり10万円を助成する。



< 2021年度助成実績 >

助成対象者92名・助成総額920万円

< 助成金の使いみち >

就職活動時の生活費、スーツ等の被服費、旅費等

< 助成を受けた学生から寄付者の方へのメッセージ >

### 大学4年生

私は教員になるために大学に進学し、この助成金を受けてこの春から、講師という形からではありますが、教員としての生活を始めることができました。子ども達が日常的に関わる「親」以外の身近な大人として自覚と責任ある行動を子ども達に示して、これからの日本の社会を担う大人となる子ども達を育てて社会に貢献することがこの助成金を頂いたことに対する恩返しと信じてこれからの教員生活に臨んでいきたいと考えています。

### 大学4年生

コロナの影響でバイトの収入が安定せず自分の10年後、20年後を見据えてどう生きていきたいのかなどいろいろ悩みました。そんな中、経済的支援があり就職活動に対してしっかりと向き合うことができました。ありがとうございます。

### 短期大学2年生

親や親戚、誰に相談しても解決できないお金の問題を名前も知らないたくさんの方に助けられました。すごく感謝しています！ありがとうございました。

## 手に職つけよう応援助成

児童養護施設を退所して進学した者が、国家資格等の養成課程を有する大学等で、当該資格の取得を目指して学ぶ際に必要とされる費用として一人あたり10万円を助成する。

### < 2021年度助成実績 >

助成対象者71名・助成総額710万円

### < 助成金の使いみち >

国家資格等の取得に必要な備品費、教科書・参考書購入費、講座・模試受験料 等



### < 助成を受けた学生から寄付者の方へのメッセージ >

#### 大学1年生

《看護師国家試験の過去問集、参考書を購入》

私は高校生の頃からアルバイトを必死にできてきて、やっとの思いで大学に進学できましたが、ほかの学生に比べ経済的な余裕がなく、勉強も十分に出来ていませんでした。ご支援のおかげで、皆が持っているような過去問集や参考書を買うことができ、それらで勉強をしています。皆と同じように勉強ができることがとても嬉しく、幸せです。ありがとうございます。

#### 大学3年生

《土質試験の教科書、構造解析の教科書等》

国家資格を取得できれば、今後の人生において大きく役立つと思います。測量士は現在の大学を卒業した後、一年以上測量に関する実務経験を有する事が条件となります。これからの事ではありますが、今回ご支援いただいたことを支えに、経験を積んで測量士の資格を得て、自分の人生を着実に歩んでいきたいと思っています。ありがとうございます。

## リスタート応援助成

児童養護施設等の退所者が、就職後さまざまな理由で就労継続が困難となり離職した際に、家族等の支援がない中で再就職をめざすための費用および伴走支援を行う施設、機関の費用を助成する。（1ケース30万円、施設・機関あたり150万円上限）

2021年度は、2020年度に実施したモデル助成による検証を通して、この助成事業の将来的な全国展開を図るため、全国で公募を受け付け、2022年度に助成する23施設・機関を決定した。

<助成決定施設・機関>

○児童養護施設

- ・城山学園（神奈川県）
- ・セント・ジョセフ会 聖ヨゼフホーム(東京都)
- ・児童愛護会 一宮学園（千葉県）
- ・京都大和の家（京都府）
- ・迦陵園（京都府）
- ・つばさ園（京都府）
- ・慶徳会 子どもの家（大阪府）
- ・子供の家（高知県）
- ・奥浦慈恵院（長崎県）



## ○自立援助ホーム

- ・まきばフリースクール 自立援助ホーム峠のまきば・愛子2（宮城県）
- ・カリヨンとびらの家（東京都）
- ・昭徳会 慈泉寮 就労支援事業 サポートいずみ（愛知県）
- ・青少年の自立を支える奈良の会（奈良県）
- ・ホザナハウス（カリスホーム・カリスボーイズ）（兵庫県）

## ○退所児童等支援事業所

- ・チャイルドラインみやぎ（宮城県）
- ・とちぎユースアフターケア事業協同組合（栃木県）
- ・滋賀県地域養護推進協議会（滋賀県）
- ・どりいむスイッチ（広島県）
- ・おおいた子ども支援ネット 児童アフターケアセンターおおいた（大分県）
- ・にじのはしファンド（沖縄県）

## ○児童家庭支援センター

- ・一粒会 ファミリーセンター・ヴィオラ（千葉県）
- ・誠信会 パラソル（静岡県）
- ・みその児童福祉会 高知ふれんど（高知県）



# 新型コロナ対策特別助成（2020年度の緊急助成につづき2021年度のみ実施）

児童養護施設を退所して進学した者で、新型コロナウイルス対策のためアルバイト等の収入が減少し、経済的に困難な状況に直面している者の学費または生活費として、一人あたり10万円を助成した。

## <助成を受けた学生から寄付者の方へのメッセージ>

なかなかアルバイトに入ることができず、収入がない中、生活のためのお金を使うことにいつも異常なほどの神経を使い、管理しながら暮らすことが大変でした。同じく大変な中でありながら、皆様にこのように支えていただきありがたいと感じています。感謝の気持ちを忘れないで、これからも精一杯生きていきます！ありがとうございます！



アルバイト先が休業となり、収入がない中、「金銭的に助けて」ということは言えませんでした。奨学金を探している時にこれを見つけて、やっと現状を解決した気がしました。施設を出ても、このような皆さんからの支援を頂けることに感謝して、今は学生なので、全力で、勉学に励み、将来同じ環境の子供を支えられる人材になれるよう励みたいと思います。ありがとうございます。

人と関わるのが極端に減ってしまったため、孤独感を感じる時がありました。新型コロナウイルス蔓延という危機的な状況の中、このような形で経済的支援をいただきありがとうございます。この助成金のおかげで、安心して大学院に通うことができました。学校での研究に精一杯取り組みます。

### <2021年度助成実績>

助成対象者317名・助成総額3,170万円

### <助成金の使いみち>

- ・家賃
- ・水道・光熱費
- ・生活費（食費、消耗品費等）
- ・学費（授業料、教科書代等）
- ・オンライン環境の整備（通信費、パソコン代）
- ・交通費（電車代、自動車保険料等）

コロナウイルスの影響でアルバイトに思うように入れない中で、オンライン化に伴うパソコン購入代やWi-Fi環境代などの出費が多くなり、困窮している大学生のうちの1人です。

そのような状況下でのご支援は生活の支えになるだけではなく心の支えにもなっており、今後はこの御恩をしっかりと返すために、今出来ることをしっかりと考え、1日1日を大切に生活したいと考えております。ありがとうございます。